

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月5日作成)

小委員会名	山留め小委員会	主 査 名：元井 康雄 就任年月：2018年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：松永 茂実
設 置 期 間	2018年4月 ～ 2022年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「山留め設計事例集」(仮称；以下、「事例集」)の刊行。「山留め設計指針」(2017；以下、「指針」)以降の山留めに関する研究開発成果や予測技術、管理技術の検証。</p> <p>初年度：「事例集」の骨子作成、「指針」作成時の課題整理。</p> <p>2年度：「事例集」掲載事例の選別、「指針」以降の新たな課題抽出。</p> <p>3年度：「事例集」執筆、山留め設計に関する新たな課題の検討。</p> <p>4年度：「事例集」査読対応、山留め設計の課題検討結果まとめ。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：元井康雄(大林組) 幹事：河野貴穂(竹中工務店)、實松俊明(鹿島建設) 委員：石井義雄(丸紅建材リース)、石丸達朗(戸田建設)、井上波彦(建築研究所)、岩田暁洋(大成建設)、小玉大樹(日建設シビル)、澤田 亮(JR総研エンジニアリング)、嶋田 司(東京地下鉄)、清水孝昭(竹中工務店)、下村修一(日本大学)、堀田洋之(清水建設)、山下俊英(前田建設工業)	
設置WG (WG名：目的)	山留め事例計算WG ：「事例集」掲載を念頭においた、山留め事例を用いた「指針」の推奨法の検証。 山留め変位予測法検討WG ：山留め事例を多様な解析方法(梁・ばねモデル、FEMなど)でシミュレーション、検討に必要な実測値の収集・整理。	
2020年度予算	50,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1回(年度内計画を含む) ※事例集原稿作成作業をメール連絡にて継続
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「山留め設計事例集」(仮称)2次原稿執筆、小委員会内査読(100%) 2. 「山留め設計指針」(2017)後の課題抽出、山留め実測事例収集(70%)
委員会活動の問題点・課題	1. 新型コロナ対応による面前での会議自粛中。